



グローバリズムという黒船へ

令和7年1月8日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

資本力と技術力という新しい経済の潮流は、グローバリズムにおける国内の開国とともに、黒船が存在するのである。

これらはグローバルスタンダードという新しい現実が企業への選択を強要するのである。

これらは企業がその万全性を構築することにおいて、企業システム、生産体制、技術力、資本力、経営チームにおける優れた理解や社員における新しい基準と理解、企業製品とサービスにおける最も優れた製品サービス基準など、これら新しい現実への対応を要求されるのである。

しかしこれら基準をクリアすることで、時代性という新しいビジネスの現実への参加を実現できるのである。

これらは新しい企業の創造性や挑戦であり、可能英という新しい経済の現実への参加の基盤なのである。

これらは現状における変化が計り知れず、その向上を与えるためなのである。これら今日の産業革命は、全く異なる新しい未来を有するのである。

そのためこれら新しい現実の有する基準や判断への参加が、企業において不可避の現実として存在するのである。

これらはまたグローバリゼーションという新しい経済の現実を有するものである。これら競争原理と市場の統一は世界における標準化であり、これらが現実を与えるのである。

これら最後の挑戦は、これら基準における企業転換を明確に意図し行うことを提案するのである。

これらは過去の企業の企業努力が、結果を有することであるため、これら現実を避けるべきでないを考える。